



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイティフォー

コード番号 4743 URL <http://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東川 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 平成23年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	6,108	0.8	535	19.4	563	34.6	248	11.3
22年3月期第3四半期	6,059	△16.5	448	△25.0	418	△31.2	223	△36.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	9.17	—
22年3月期第3四半期	8.14	8.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	10,603	7,999	74.8	292.49
22年3月期	10,770	7,869	72.8	288.86

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 7,934百万円 22年3月期 7,836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

当社は、従来より、連結配当性向30%を目標に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。

今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金および年間配当金の記載を「—」と表記しております。なお、22年3月期の配当には、上場10周年記念配当3円を含んでおります。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	10.1	1,400	21.9	1,350	21.7	730	26.7	26.91

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ー ）、除外 一社（社名 ー ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	29,430,000株	22年3月期	29,430,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	2,301,389株	22年3月期	2,301,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	27,128,629株	22年3月期3Q	27,466,390株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な輸出などを背景に企業業績にも一部改善の兆しが見られるものの、厳しい雇用環境や不安定な為替動向もあり、景気は引き続き先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、IT関連投資に前向きに取り組む企業も出てまいりましたが、一方では投資の先送りや様子見の企業も多く、未だ本格的な回復局面には至っていない状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは主力商品である金融機関向けのプロダクトを中心に積極的な営業活動を行っております。金融機関のお客様は、情報化投資に積極的に取り組みはじめており、また、リーマンショック以降投資を手控えていた外資系金融機関でも本格的な情報化投資を再開する動きが出てきております。前年同期と比較すると売上は微増にとどまりましたが、受注は二桁増加、受注残は10億円以上積み上がっております。また、ソフトウェアの利益率の改善効果から営業利益、経常利益とも大幅増益となりました。第2四半期連結累計期間に特別損失として計上した保有株式(取引銀行)の株価下落に伴う投資有価証券評価損の影響はありますが、四半期純利益におきましても二桁増益を確保いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,108百万円(前年同期比100.8%)、営業利益は535百万円(前年同期比119.4%)、経常利益は563百万円(前年同期比134.6%)、四半期純利益は248百万円(前年同期比111.3%)となりました。

当社グループは、システムインテグレーターとして顧客の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せ提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを単一のセグメントとする事業を行っております。参考として当第3四半期連結累計期間におけるサービスプロダクトごとの概況を記載いたします。

#### (システムソリューション)

システムソリューションでは、主力商品である銀行向け債権管理システム、融資審査支援システムなどの受注が好調で、5億円にせまる大型新規案件の受注も獲得しております。サービス向け新事務ガイドラインへの対応ニーズに向けたパッケージの提供や、自治体向けの滞納整理システムや電話催告システムでも新規顧客への納入が相次いでおり、第3四半期中に事業を譲受けた教育関連システム事業も順調に立ち上がりました。また、従来の通話録音を中心としたソリューションに会話分析など新機能を搭載したコールセンターシステムでも受注が増加しているほか、ECサイト構築システムでは従来のパッケージソフトの提供だけでなく、店舗システムとの連携をカスタマイズで盛り込んだ案件を受注いたしました。その結果、受注は4,981百万円(前年同期比122.8%)、売上は4,149百万円(前年同期比103.6%)となりました。

#### (ネットワークソリューション)

ネットワークソリューションでは、継続して取り組んでいる大手通信キャリアの携帯電話基地局向け通信エリアの拡大と品質改善のためのソリューションにおいて追加の受注獲得が続いているほか、首都圏自治体における地理情報システムに対応したシステム基盤の公開入札案件を受注いたしました。また、大手企業を中心にITインフラの見直しなどに対応した受注も増加しており、受注は790百万円(前年同期比110.0%)、売上は538百万円(前年同期比96.7%)となりました。

#### (カスタマーサービス)

カスタマーサービスでは、安定収益源である保守サービスを中心に活動しており、受注は1,167百万円(前年同期比96.7%)、売上は1,420百万円(前年同期比95.0%)となりました。

また、当社グループでは、顧客への出荷や納期が9月及び3月に集中する傾向があります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

流動資産は7,192百万円となり、前連結会計年度末に比べて200百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が405百万円、受取手形及び売掛金が466百万円減少し、有価証券が200百万円、たな卸資産が439百万円増加したことなどです。

固定資産は3,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて大きな変動はありませんでした。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,603百万円となり、前連結会計年度末に比べて166百万円減少いたしました。

流動負債は2,043百万円となり、前連結会計年度末に比べて298百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等が277百万円、賞与引当金が184百万円減少したことなどです。

固定負債は560百万円となり、前連結会計年度末に比べて大きな変動はありませんでした。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,603百万円となり、前連結会計年度末に比べて297百万円減少いたしました。

純資産は7,999百万円となり、前連結会計年度末に比べて130百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は74.8%となり、引続き健全な財政状態を保っております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は2,999百万円となり、前連結会計年度末と比べ955百万円減少いたしました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から得られた資金は588百万円(前年同期比93.8%)となりました。主な増加要因は売上債権の減少447百万円、税金等調整前四半期純利益415百万円であり、主な減少要因は法人税等の支払い452百万円です。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,272百万円(前年同期比202.2%)となりました。主な減少要因は有価証券の取得による支出1,899百万円、無形固定資産の取得による支出379百万円であり、主な増加要因は有価証券の売却による収入699百万円です。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は271百万円(前年同期比87.5%)となりました。主な減少要因は配当金の支払い270百万円です。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、2010年4月30日に公表いたしました数値に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

経営環境の著しい変化が生じておらず、一時差異の発生状況について前連結会計年度から大幅な変動がないため、前連結会計年度末の検討において使用した業績予想やタックスプランニングを利用しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理

##### 税金費用の計算

税金費用については、当四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を見積り、税引前四半期純利益に当期見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②たな卸資産の評価方法の変更

当社の商品・貯蔵品については、従来、総平均法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より基幹システムの見直しを行い、適時的に払出原価の算出を行うことにより、より迅速に期間損益を算定することを目的として、移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しました。

なお、これによる売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結会計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めていた「投資有価証券」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間の投資その他の資産の「その他」に含まれる「投資有価証券」は828百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「コミットメントフィー」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「コミットメントフィー」は4百万円であります。
2. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「株式報酬費用」は、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「株式報酬費用」は、11百万円であります。
2. 前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「保険積立金の積立による支出」は、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「保険積立金の積立による支出」は、0百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,551,044	1,957,010
受取手形及び売掛金	1,520,470	1,986,900
有価証券	3,048,300	2,848,116
たな卸資産	666,516	227,396
その他	406,379	373,865
貸倒引当金	△344	△299
流動資産合計	7,192,367	7,392,990
固定資産		
有形固定資産	762,272	819,607
無形固定資産	871,745	830,691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,190	1,066,175
その他	703,536	661,334
貸倒引当金	△155	△285
投資その他の資産合計	1,777,571	1,727,225
固定資産合計	3,411,589	3,377,523
資産合計	10,603,956	10,770,513
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,003,108	958,437
未払法人税等	64,339	341,976
賞与引当金	197,800	382,000
その他	778,122	659,337
流動負債合計	2,043,369	2,341,751
固定負債		
退職給付引当金	295,526	293,418
役員退職慰労引当金	14,988	13,863
その他	250,073	252,389
固定負債合計	560,587	559,671
負債合計	2,603,957	2,901,422

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,221,189	1,221,189
利益剰余金	6,445,907	6,468,384
自己株式	△900,696	△900,670
株主資本合計	7,891,069	7,913,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,990	△77,892
繰延ヘッジ損益	△142	659
評価・換算差額等合計	43,847	△77,232
新株予約権	55,861	19,581
少数株主持分	9,221	13,169
純資産合計	7,999,999	7,869,090
負債純資産合計	10,603,956	10,770,513

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
売上高	6,059,083	6,108,638
売上原価	3,727,507	3,604,283
売上総利益	2,331,575	2,504,354
販売費及び一般管理費	1,883,439	1,969,272
営業利益	448,136	535,081
営業外収益		
受取利息	10,573	4,856
受取配当金	10,731	10,662
契約中途解除益	16,999	—
和解清算益	32,044	—
持分法による投資利益	—	14,530
その他	11,431	11,693
営業外収益合計	81,780	41,742
営業外費用		
支払利息	92	50
投資有価証券評価損	57,003	—
持分法による投資損失	43,531	—
固定資産除却損	3,076	3,921
支払補償費	—	5,287
コミットメントフィー	—	3,753
その他	7,315	69
営業外費用合計	111,020	13,083
経常利益	418,896	563,741
特別損失		
投資有価証券評価損	—	148,691
特別損失合計	—	148,691
税金等調整前四半期純利益	418,896	415,049
法人税等	199,565	170,189
少数株主損益調整前四半期純利益	—	244,860
少数株主損失(△)	△4,213	△3,948
四半期純利益	223,544	248,809

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	418,896	415,049
減価償却費	282,851	383,920
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△218,200	△184,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,033	2,107
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,438	1,125
長期未払金の増減額 (△は減少)	△38,621	△1,413
株式報酬費用	—	36,279
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△86
受取利息及び受取配当金	△21,304	△15,518
支払利息	92	50
為替差損益 (△は益)	538	—
持分法による投資損益 (△は益)	43,531	△14,530
投資有価証券評価損益 (△は益)	57,003	148,691
固定資産除却損	3,076	3,921
支払補償費	—	5,287
契約中途解除損益 (△は益)	△16,999	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,854,677	447,511
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△202,388	△439,120
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,058,542	44,670
その他	119,326	191,006
小計	1,239,389	1,024,753
利息及び配当金の受取額	21,874	15,976
利息の支払額	△92	△50
法人税等の支払額	△634,277	△452,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,893	588,112
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△550,000	—
定期預金の払戻による収入	500,000	450,000
有価証券の取得による支出	△699,288	△1,899,098
有価証券の売却による収入	498,708	699,465
有形固定資産の取得による支出	△60,719	△82,794
無形固定資産の取得による支出	△317,287	△379,065
投資有価証券の取得による支出	—	△23,028
会員権の取得による支出	△17,776	—
保険積立金の積立による支出	—	△52,751
その他	17,000	14,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△629,361	△1,272,624

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△177,134	△25
自己株式の処分による収入	142,857	—
配当金の支払額	△274,854	△270,385
リース債務の返済による支出	△830	△769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,962	△271,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△538	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△312,969	△955,692
現金及び現金同等物の期首残高	4,053,635	3,955,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,740,666	2,999,637

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

当社グループは、システムインテグレーターとして、同一セグメントに属するソフトウェアの開発、コンピュータ及び関連商品のコンサルティングから保守・運用管理に至る事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

当社グループは、システムインテグレーターとしてお客様の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せて提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを単一のセグメントとする事業を行っているため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。